

当院の救急当番日(外科)



1月 … 4, 5, 8, 13, 15, 22, 25, 26, 29
2月 … 3, 5, 8, 9, 12, 19, 22, 23, 26
3月 … 3, 5, 8, 9, 12, 19, 22, 23, 26

健康急便

2025

冬号

(第72号)

院内研究発表会を終えて

… P2

新しく常勤医となった医師の紹介

… P3

バトンタッチ

… P4

外来診療体制

… P4

あとがき

… P4

医療法人社団 藤花会

江別谷藤病院

理念

一. 私たちは医療を通して、快適な毎日の生活をサポートします。

二. プロとして、成長し続けるために努力、勉強に努めます。

院内研究発表会を終えて

外来看護師 土榮由理子

2024年11月15日金曜日に第17回院内研究発表会が行われました。

今年度は、放射線科、リハビリテーション科、看護部から計7演題が発表されました。演題は以下の通りです。

1. 当院における医療被ばく線量管理について 放射線科
2. 2024年度介護報酬改定における訪問リハビリの課題 リハビリテーション科
3. トイレ動作自立患者の認知機能と身体機能の関連性 リハビリテーション科
4. 脊椎術後患者の排便コントロールへの関わり ～看護師の意識の向上を目指して～ 3階病棟
5. アンガーマネジメントで怒りの感情をコントロールする意義とは
～働きやすい職場環境構築への取り組み～ 4階病棟
6. 当院外来看護師の災害初動に関する意識調査 外来
7. 申し送り廃止に向けて 5階病棟

今回外来は災害初動について発表させていただきました。2018年の胆振東部地震の後は災害に対して考えることも多く、それぞれ防災対策をしていたと思いますが、月日が経過することでいつの間にか風化されていたように感じます。今回の研究にあたり学習したことを今後に活かし、いつ災害が起きても対応できるような体制づくりに繋げていきたいと思っています。今回約20年ぶりに発表者となり非常に緊張しましたが、共同研究者の方たちと何度も話し合い、悩みながらも無事発表できたのは皆様の協力のおかげだと感謝しています。

今年もここ数年と同様に会場を分けてリモート形式で行われました。会場には参加者も多く、質疑応答も積極的に行われ、関心の高さがうかがえました。

他部署の発表にも興味深い内容が多く、特に「アンガーマネジメントでの怒りの感情をコントロールする意義」では、多忙で余裕がなくなることで怒りを表出してしまうことは誰にでも起こりえますが、その怒りをコントロールすることが良好な人間関係を作るうえで大切なのだと発表を聞き改めて感じました。また、そのことを職場の一人一人が意識することで、働きやすい環境を作り出すことができ、結果として患者様により良い医療の提供につながるのではないかと思います。

今回学んだこと、経験したことを今後の看護に活かせるよう日々努力していきたいと思っています。

新しく常勤医となった医師の紹介

内科・循環器内科 山中伸悟 医師

2024年11月より内科・循環器内科で勤務している山中伸悟と申します。北海道から遠く離れた高知県高知市出身です。1996年に高知大学を卒業後もずっと高知県内の病院で勤務(江別市と友好都市の土佐市でも勤務歴があります)していましたが、一度県外移住と勤務を経験したいと思い立って、妻と共に大好きな北海道にはるばるやって参りました。縁あって江別谷藤病院で採用して頂き、地域医療に従事しております。

もともとは循環器内科医として診療をしていましたが、前任地の高知県立幡多(はた)けんみん病院では循環器疾患以外に感染症や糖尿病、甲状腺疾患などの内科疾患を幅広く診療していました。幡多けんみん病院は宿毛(すくも)市にあり、高知県西南部の幡多地域の中核病院です。

幡多地域について少しご紹介すると、6市町村で構成されている人口8万人ほどの地域です。平野部は小さく海山川の自然に恵まれており、日本最後の清流と呼ばれている四万十(しまんと)川や海水の透明度が高い大月町柏島、海をのぞむ絶景の足摺岬などが観光地として知られています。

ちなみに高知県の方言は土佐弁が有名ですが、幡多では土佐弁と少し違った幡多弁が一般的です。自分は北海道に来てから標準語を意識して使っていますが、家では土佐弁です。お聴きになりたい方はリクエストください。

北海道と高知県はともに高齢化率は同程度に高く、地域の事情の違いは多少あると思いますが、高齢者が多いことや病気には大きな違いはないと思います。高知県での経験が江別の地域医療に少しでもお役に立てれば幸いです。よろしくお願い致します。

バトンタッチ

看護師 池間 友美

こんにちは、危機管理対策室の池間です。新年初めてのバトンタッチが私であることに恐縮しております。新しい年になり、気持ちも新たに身を引き締めている方もいらっしゃると思います。私は毎年、自分を鼓舞するために続けている習慣があります。

ひとつは占いの本を購入すること。毎年決まった本を約15年間購入しており、本の趣や字面から当たりそうな雰囲気があり、とにかく自分に関することを読みあさり、2月には本の存在も忘れていた。というのが例年の流れです。

もうひとつは宝くじを購入すること。毎年「当たるな・・・。」という直感を信じて買い続けて15年。売り場の選択、バラと連番の割合、最大限まで悩み全力を尽くしますが、未だ高額当選にはめぐり合えず赤字のままです。皆さんにこのお話が読まれている頃には・・・赤字が増えていないことを願っています。

感染管理では「根拠」「エビデンス」と口うるさいですが、私生活では根拠のないものに一喜一憂しながら今年も楽しんでいきます。次回は、管理課の駒沢さんにバトンタッチ。



江別谷藤病院 外来診療体制

診療科	時間	月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	谷藤 高橋	谷藤 大本	大本	谷藤 小野	谷藤	谷藤
	午後	大本	高橋	高橋 小野※1	小野	高橋	
内科	午前	渡部	服部	渡部	服部 山中	山中	出張医
	午後	山中	山中	山中	山中	渡部	
消化器科	午前				足立		
	午後		前佛				
呼吸器内科	午前	渡部		渡部			
	午後		渡部			渡部	
脳神経外科 リハビリ科	午前	黒川	黒川	黒川	野崎		黒川※2
	午後		野崎	野崎		黒川	
もの忘れ外来	午前					野崎※3	
	午後						
リウマチ 専門外来	午前	服部					
	午後	服部			服部		
循環器科	午前	山中	出張医				
	午後						
皮膚科	午前						佐藤
	午後						佐藤※4

※1：診療は14時から開始となります。
※2：第2、第4週のみ診療を行っております。事前にお問い合わせ下さい。
※3：「もの忘れ外来」は予約が必要です。病院受付、もしくは相談室までお問い合わせ下さい。(第2金曜日を除く)
※4：第2、第4週のみ診療を行っております。
医師の不在日等はお電話(011-382-5111)にてお問い合わせ下さい。

～あとがき～

広報委員 萬年 秀憲

いつも当院広報誌「健康急便」をご覧いただきありがとうございます。

去年は元旦から能登地方で大地震が発生し、翌日には飛行機の衝突事故が起きるなど、ショッキングなニュースから始まった2024年でしたが、その後はオリンピックの開催やMLBの大谷選手が史上初の50本塁打、50盗塁を達成するなど明るいニュースも多くあった年でした。

今年2025年は大きな災害などのない平穏な一年になるといいですね。

<発行元>

医療法人社団
藤花会 江別谷藤病院
広報委員会

北海道江別市
幸町22番地
Tel. 011(382)5111